

## 職場受け取りチャレンジ・参加について

- 申込の上、各事業所にて職場受け取りを実施してください。可能であれば、宅配個数が多くなり温暖化防止月間でもある「12月」に実施のご協力をお願いします。  
(実施期間については、各事業所のご都合にてお決めください。ご都合により途中で終了されてもかまいません。やってみて良かった場合はぜひ今後も引き続き職場受け取りを実施いただくと幸いです)
- 従業員さんへの啓発として「再配達削減チャレンジ!パンフレット」の配布をしてください。
- 1月頃に「職場受け取りに関するアンケート」を行いますので、可能であればご協力ください。
- 支社、支店、営業所のみでの参加も可能です。
- 当センター「再配達削減チャレンジ」ウェブサイトに参加事業所名を掲載いたします（希望事業者のみ）。

## お申込み&お問い合わせ先

京都府地球温暖化防止活動推進センター（担当：浅井まで）  
〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3  
TEL 075-803-1128 FAX 803-1130 メールアドレス center@kcfca.or.jp

ご質問等、お気軽にお問い合わせください

**A** もしくは **B** のどちらかのみご記入のうえ、FAX もしくはメールにて送付ください。

## A 職場受け取りチャレンジ・参加申込用紙

事業所名	
所在地	
ご担当者名	
ご担当者の電話番号	ご担当者の FAX
ご担当者のメール	
参加内容 (どちらかに <input checked="" type="checkbox"/> )	<input type="checkbox"/> 職場受け取り実施へ参加 <input type="checkbox"/> 啓発のみの協力（従業員へ再配達削減パンフレットを配布）
従業員数	人
ホームページへの事業所名掲載	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
環境省 COOL CHOICE	<input type="checkbox"/> 賛同している <input type="checkbox"/> 賛同していない <input type="checkbox"/> わからない
ツール (必要であれば <input checked="" type="checkbox"/> )	<input type="checkbox"/> 従業員への通知文ひな型 <input type="checkbox"/> 「再配達削減プロジェクト 賛同事業所」ステッカー
ご質問等、何かありましたらご記入ください。	

お申込みありがとうございます。後日、担当よりパンフレット等をお送りします。

## B アンケート【職場受け取りが難しい理由】

業種	従業員数	人
貴社にて職場受け取りの実施が難しい理由・原因を教えてください。		

アンケートにご協力ありがとうございます。

このパンフレットは、環境省2019年度（平成31年度）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域における地球温暖化防止活動促進事業）の一環で作成しました。  
この印刷物は、再生紙に印刷されており、作製過程で排出されるCO<sub>2</sub>は、京-VERによりカーボンオフセットされています



宅配便・再配達削減チャレンジ!

# 職場受け取りチャレンジ 参加企業募集中!

2018年12月には本チャレンジにて  
83回の職場受け取りがありました!  
※10事業所合計

「職場受け取り」  
って?

職場に個人の荷物（宅配便）を届けてもらい、  
宅配便の再配達を減らす取り組みです。

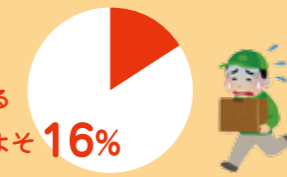
50人ぐらいまでの、お互いに顔がわかるぐらいの規模の、  
アットホームな企業・事業所さんに特にお勧め!

職場受け取りは、

- コスト0で、すぐに始められる「社会貢献」です!
  - 従業員の働きやすさ向上（福利厚生）にも繋がります。
  - 実践企業さん、増えています。従業員さんにも好評です。
- 再配達削減→社会的損失を減らせます。

- インターネット通販等の拡大により、近年、宅配便の個数が増加。ドライバー不足等の労働問題も。

宅配便が再配達されている割合は全体のおよそ **16%**



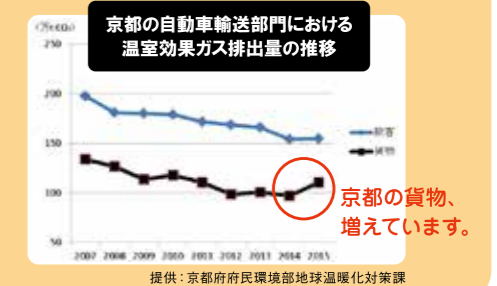
宅配便の再配達により消費されている労働力は **約1.8億時間**

これは例えるなら...

**10人のうち1人**のドライバーは、一日中再配達を担当している計算になります。



- 再配達のトラックから排出されるCO<sub>2</sub>はおよそ42万トン。地球温暖化→環境問題にも。



職場受け取りで再配達が減ると、社会問題（労働問題）も環境問題も改善につながり、社会的損失を減らすことができます。



8 働きがいも経済成長も  
従業員の利便性向上  
宅配ドライバーの労働環境改善



9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
宅配というインフラを守ろう



11 住み続けられるまちづくりを  
交通事情、買い物事情をよくしよう



12 つるもつる責任  
商品の運ばれ方や購入方法を持続可能に



13 気候変動に具体的な対策を  
宅配トラックが再配達のために走行して無駄なCO<sub>2</sub>を出さないように  
17 パートナシップで目標を達成しよう  
色々な立場の人が連携して再配達を減らそう



京都府地球温暖化防止活動推進センター

Kyoto Center for Climate Actions

## なぜ今、職場受け取りなの？

現代版コミュニティ受け取りが必要とされています

ひと昔前は、お隣さんなどご近所のコミュニティで受け取りがされていましたが、プライバシー等の問題もあり、現在はされなくなっています。そんな中、毎日顔を合わせる職場で荷物を受け取ることは、現代版のコミュニティ受け取りと言えます。

職場受け取りにすると、再配達が減るだけでなく、複数の宛先のをまとめて配達することができ、配達件数そのものを減らすことにも繋がります。職場受け取りは、再配達削減をするための大変効果的な取り組みなのです！



## 1日にどれくらい荷物が来る？実践事例はある？



社員50名・平均年齢29歳のカルテットコミュニケーションズさんの場合、個人の荷物の職場受け取りは、平均すると1日に1件程度だそうです。職場受け取りをすると、荷物の受け取りのために早退する必要もなくなり、会社にとっても社員さんにとっても利便性が上がります。家族に内緒でプレゼントを受け取ることもでき、たいへん好評だそうです。

会社に届けるものは、各個人で判断します。大きすぎるものや同僚に知られたくないもの、生ものなどはもちろん自宅で受け取ります。すべての荷物を職場で受け取るわけではありません。なので、職場受け取りで問題が起こったことはないとのこと。

効果を実感された堤社長は、知り合いの企業にも呼び掛けて、草の根運動という形で「職場受け取り運動」を開始されました。

この運動は、2017年に環境省COOL CHOICE LEADERS AWARDの優秀賞を受賞されるなど、各方面からその取り組みが評価されています。

職場受け取り運動についてはコチラ

<http://shokuba-uketori.com/>



職場受け取り運動に参加している企業さんの平均的な受け取り数は1カ月で5〜20個ほどです。

## どうやったら職場受け取りができるの？

全従業員に「職場へ個人の荷物を届けてもいい」と周知するだけです

全従業員へ「職場に個人の荷物を届けてもいい」ということを周知するだけです。小規模の会社であれば、コストもスペースも不要です。

### 受け取りまでの流れ

- 1 注文時に、送り先を会社に指定する（「〇〇会社気付 〇〇(個人名)宛」とすると個人の荷物であることが分かりやすい)
- 2 配達されたら、入り口近くの従業員さんが受け取り、注文者に渡す（デスク等に置く）
- 3 注文者は受け取りをしてくれた従業員さんにお礼を言う



職場受け取りチャレンジにお申込みいただいた場合、ご希望に応じて、従業員さん宛の通知文ひな型や、再配達削減パンフレット、再配達削減賛同事業所ステッカー等をお送りします。

## 2018年度の職場受け取りチャレンジには21事業所が参加しました！

1カ月間で合計83回の職場受け取りがありました（アンケート協力事業所10社の合計）。アンケート協力事業者すべてが、職場受け取りを継続して実施しています。

確実に受け取れて、再配達の手続きいらず。また、受け取りのために慌てて帰宅しなくても良くなり、ストレスが減りました。

休日に時間指定して自宅で2〜3時間待機しなくても良くなりました。

子どもへのクリスマスプレゼントをこっそり購入するのに便利でした。

職場で受け取れると、帰宅してから夕食や入浴などバタバタしているときに受け取らずに済みます！

非常に良い取組だと思い、組織内の調整も意欲的に行いました。それでも一番最初に職場受け取りをするときは少しためらいを感じました。でも一度利用したら便利で、ためらいもなくなりました。

このあたりは比較的過疎で住宅の密度も低く、宅配事業者さんの再配達の負担も大きいと思う。職場受け取りで軽減できるのは良い取組。広まってほしいです。

体験者（従業員）の声

事業所担当者の声